

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門					こども-09	私立保育所等入所事業			
主管課	保育課	関連課	こどもみらい課							
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行う。 待機児童0人									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年4月1日現在 私立入所児童数					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人						
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	1597人	1453人	1290人						
運営資源状況	決算値(千円)	1,400,257	1,288,222	1,180,869						
	(国・県)	592,132	526,563	496,559						
	(負担金等)	405,109	404,276	396,062						
	(一般財源)	403,016	357,383	288,248						
	人員配置数	3.0人	3.0人	3.0人						
	人件費(千円)	23,668	24,369	26,140						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,423,925	1,312,591	1,207,009						
	市民1人当りの経費(円)	8,004	7,406	6,811						
	対象者1人当りの経費(円)	891,625	903,366	935,666						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒									
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
待機児童数(各年度4月1日現在・私立 保育園分)	○	目標値	5人	5人	5人	5人	0人			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	28人	21人	25人	27人				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
私立保育所等入所事業	1,400,257	私立保育所助成事業の一部	1,642,037	今後の 方向性	B	理由 ・手法	市内の私立保育所、市外の公私立保育所に入所している市内在住の児童に係る運営費等に対する扶助費を執行する。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	待機児童解消を目指し定員及び施設増を図っているが、待機児童の解消には至っていない。更なる定員及び施設増などの取り組みが必要である。									
課題解決のための取組	待機児童対策として、保育所最低基準を遵守しつつ、保育士の弾力的配置等により、定員を超えた弾力的な運用による入所児童の受入れを行った。民間保育園の分園の設置や定員増を行った。なお、事業の対象者数については、これまで各年3月1日現在でとらえていたが、平成24年度から、4月1日現在でとらえるべく見直しを行った。	取組の結果					<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題	待機児童の解消									
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	待機児童の解消に向けて、民間保育所の設置や玉縄地域における岡本保育園の建替えに伴う子育て支援施設の整備計画を策定しながら入所枠の拡大を図る。また、家庭的保育事業制度の更なる活用については、事業の拡大に向け研修などを実施し、多様化する保育ニーズに対応していく。さらには、平成27年4月に本格施行される子ども・子育て支援新制度に向けて実施したニーズ調査をもとに、保育の必要量を見極めることにより、認可保育所や認定こども園だけではなく、小規模保育事業や家庭的保育事業など必要量に合わせた施設整備を検討していく。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ※ <input type="checkbox"/> 事業完了			

評価者名

保育課長

福谷 日登志

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
私立保育所等入所事業	私立保育所への運営費及び市外の保育所に対する運営費、法外扶助費の支払。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		68・1325	私立保育所運営扶助費	1,538,710	1,350,093	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		68	管外委託運営扶助費	65,720	45,482	○	○	○	○
68	管外委託法外扶助費	5,414	4,682	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								